

## ■令和2年度 事業の総括

このたびの新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々へ、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々、ならびにご家族・関係者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

当法人におきましては、おかげさまで、徹底した感染防止対策もあり、理事や職員が感染することなく、活動に参加した子ども達を含め事業活動中に感染者を出すことなく1年を乗り切ることが出来ました。あらためて職員ならびに関係する皆様へ御礼を申し上げます。

昨年度の事業においては、やはり新型コロナウイルス感染拡大の影響により、たいへん厳しい運営状況となっており、一部の事業が中止あるいは規模を縮小しての実施となっており、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金や給付金を申請・受領したほか、自粛要請に従い事務所およびオンカフェを休業あるいは時短営業し、雇用調整助成金を申請して職員の雇用維持をはかりました。

同時に組織の基盤強化を図るために、理事ならびに職員の研修や資格取得を行いました。が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、講座が中止されたこともあって、思うように進まず、次年度も引き続き継続してまいりたいと考えております。

またオンカフェにおいては、補助金を活用した基盤整備事業として厨房設備の改装を行い、新たなメニューとしてピザを開発したほか、ピザを含めメニューのデリバリーを強化し、加えて感染防止対策として、検温機や消毒剤の設置や店内の換気と消毒を行っております。

飯坂茂庭活性化プロジェクトにおいては、カヤック等の体験アクティビティがインターネットにおける広報の強化と、エールクーポン等の行政による支援策もあって、前年度比約20%の参加者増となりました。こちらは新型コロナウイルス感染拡大により野外活動への興味関心が増えたことも一つの追い風になったのではないかと感じています。

また、冬季期間中の体験アクティビティとして、万世大路(旧国道13号線)の廃道にあるトンネル(ニツ小屋隧道)をスノーシュー(かんじき)を履いて歩くプログラムも実施しました。

子ども達の外遊びを支援する冒険あそび場事業においては、やはり新型コロナウイルス感染拡大防止の為、不特定多数の児童を対象とした活動をひかえて、児童センターや放課後学童保育団体を対象とした活動を行いました。

事業のほとんどを、福島県内の野外体験活動団体で組織する「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」の構成員として、福島県からの委託事業で行っていますが、これまでの活動の周知や広報により県内で実施する団体が増えたことで、相対的に当法人の楽校ネット内における実施回数の配分が少なくなっていることから、自主財源を確保し、飯坂町を中心により多くの子ども達に外遊びの機会を作っていきたいと考えています。

特定非営利活動法人  
いいざかサポーターズクラブ  
代表理事 佐藤 耕平  
代表理事 藤原 純

■令和２年度 組織運営に関して

□会員に関する事項

(１) 会 員 数	* 正会員 31 名
(２) 会員へのサービス	① イベント等の案内（郵送） ② 会員交流会 11/24 オンカフェ新メニュー（ピザ）試食会 ③ 会報誌発行 未実施

□運営に関する事項

１．総会

日 時	令和 2 年 6 月 27 日 15:00～17:00
場 所	飯坂町商工会館 2階会議室（福島市飯坂町字筑前 1 2 - 1）
出 席	正会員：23名（内、委任状13名）

２．理事会

日 時	令和 2 年 4 月 21 日 17 : 00 ～ 18 : 00
場 所	書面決議
出 席	藤原純、佐藤耕平、橋本圭介、佐藤秀真、古山郁、金澤次郎
議 題	①日本政策金融公庫からの借入れについて
日 時	令和 2 年 5 月 25 日 15 : 00 ～ 17 : 00
場 所	オンライン
出 席	藤原純、佐藤耕平、橋本圭介、佐藤秀真、古山郁、金澤次郎
議 題	①総会日時と会場について ②会員制度の見直しと会費額の変更について ③役員改選について ④総会資料（活動報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録、活動計画、活動予算） の確認
日 時	令和 2 年 6 月 15 日 15 : 00 ～ 17 : 00
場 所	いいざかサポーターズクラブ事務所（福島市飯坂町字湯沢 2 6）
出 席	藤原純、佐藤耕平、橋本圭介、佐藤秀真、古山郁、金澤次郎
議 題	①役員改選について ②定款変更について
日 時	令和 2 年 9 月 7 日 15 : 00 ～ 18 : 30
場 所	オンカフェ（福島市飯坂町字湯沢 2 6）
出 席	藤原純、佐藤耕平、佐藤秀真、古山郁、木戸康司、金澤次郎
議 題	①事業の進捗状況 ②雇用調整助成金の申請について ③会員とのコミュニケーションについて
日 時	令和 3 年 3 月 17 日 10 : 00 ～ 12 : 30
場 所	オンカフェ（福島市飯坂町字湯沢 2 6）
出 席	藤原純、佐藤耕平、橋本圭介、佐藤秀真、古山郁
議 題	①令和2年度の決算見込みについて ②令和3年度の活動計画と活動予算について

### 3. 組織基盤の整備

#### (1) 広報活動

##### ①展示会・イベント等への参加・出店

名 称	福島市エール・ピンチをチャンスにプロジェクト報告会
主 催	一般社団法人福島市観光コンベンション協会
実施日	令和 2 年 8 月 3 日 10 : 00 ~ 12 : 00
場 所	クーラクーリアンテ (旧 SP VILLAS サンパレス福島)
内 容	福島市観光コンベンション協会が主催するNHK朝ドラ「エール」にちなんだ商品造成や販売促進事業成果の発表会においてメディアヘカヤック・ツアー等のPRを実施
名 称	東北ディスティネーション・キャンペーン説明会
主 催	一般社団法人 東北観光推進機構
実施日	令和 2 年 9 月 2 日 14 : 00 ~ 16 : 00
場 所	吉川屋
内 容	令和3年4月に予定するJR東日本の旅行キャンペーン説明会において、参加する各旅行会社ヘカヤック・ツアーなど体験プログラムのPRを実施
名 称	東北観光推進機構 オンライン商談会
主 催	一般社団法人 東北観光推進機構
実施日	令和 3 年 1 月 28 日
場 所	オンライン
内 容	関東圏の旅行会社ヘカヤックツアーなど体験プログラムのPRを実施

##### ②メディアへの掲載

日 時	内 容	掲 載 先 等
令和 2 年 7 月	カヤックツアー参加募集の案内	シティ情報ふくしま
令和 2 年 7 月	同上	インターネット・ニュースサイト 71社で記事掲載
令和 2 年 7 月	同上	月刊雑誌aruku
令和 2 年 9 月	同上	インターネット・ニュースサイト 59社で記事掲載
令和 2 年 9 月	同上	ハイウェイウォーカー
令和 2 年 9 月	同上	関東東北じゃらん9月号
令和 2 年 11 月 30 日	オンカフェ新メニュー(ピザ)について	福島民報社
令和 2 年 11 月 30 日	同上	福島民友新聞社

##### ③インターネットでの情報発信 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

ホームページ閲覧者数	41,464 名 (令和元年度 31,576名)
フェイスブック閲覧者数	74,885 名 (令和元年度75,271名)
福島市観光コンベンション協会の「ピンチをチャンスにプロジェクト」補助金を活用して、専門家の派遣を依頼し、ホームページの検索最適化対策 (SEO) を実施	

(2) 研修やセミナーへの参加

日 時	内 容	主催団体等	参加者
令和 2 年 6 月 17 日	カヌー技術及び安全講習	ナチュラルビズ	佐藤耕平 金澤次郎 木村裕
令和 2 年 6 月 22 日 ～ 23 日	カヌー技術及び安全講習・インストラクター試験	日本レクリエーションカヌー協会	佐藤耕平 金澤次郎 木村裕
令和 2 年 7 月 7 日 ～ 8 日	西会津国際芸術村、きのこ工房、会津若松七日町通へ視察研修	法人内研修	藤原純 佐藤耕平 藤原律子 前田久美子 木村裕
令和 2 年 8 月 2 日 ・ 8 月 30 日 ・ 10 月 18 日 ・ 11 月 22 日	レクリエーションカレッジ 2020	特定非営利活動法人 福島市レクリエーション協会	木村裕
令和 2 年 9 月 5 日 ～ 6 日	遊んで学ぶ地域の関係づくり	認定特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ	佐藤耕平 木村裕
令和 2 年 10 月 3 日	地域活動の実践例 (特定非営利活動法人りょうぜん里山がっこう)	認定特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ	佐藤耕平 木村裕
令和 2 年 11 月 7 日	地域活動の実践例 (特定非営利活動法人ふくしま飛行協会)	認定特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ	佐藤耕平 木村裕
令和 2 年 12 月 5 日	地域活動の実践例 (特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ)	認定特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ	木村裕
令和 2 年 10 月 9 日	NPO税務会計講座	福島市市民活動サポートセンター	前田久美子
令和 2 年 11 月 6 日	飯坂町内の歴史と史跡探訪	飯坂町史跡保存会	前田久美子 木村裕
令和 2 年 11 月 19 日	ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会	福島市保健所	木村裕
令和 3 年 2 月 19 日	明治時代の万世大路建設に関する調査発表会	二ツ小屋隧道保存会	佐藤耕平
令和 3 年 3 月 18 日	HACCP講習会	福島市保健所	前田久美子 木村裕

4. 職員及びボランティア

(1) 事業別人員体制

事業名	理事及び会員、職員	スタッフ・ボランティア
法人事務局	常勤理事 1 名      非常勤理事 1 名 職員 2 名 業務に応じて理事及び会員が応援	4 名
冒険あそび場事業	常勤理事 1 名      職員 1 名 業務に応じて理事及び会員が応援	6 名
飯坂茂庭活性化プロジェクト	常勤理事 1 名      職員 1 名 業務に応じて理事及び会員が応援	7 名
オンカフェ事業	非常勤理事 1 名      職員 1 名 パート職員 2 名	4 名
※新型コロナウイルス感染拡大防止による休業要請に従い、事務所ならびに店舗の休業や勤務時間の短縮対応を行うとともに、雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金を活用して、職員雇用の維持を図った。		

(2) 福島市 地域おこし協力隊の受入

名 称	地域おこし協力隊
委託元	福島市 市民・文化スポーツ部 定住交流課
募集期間	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日
内 容	人口減少や高齢化が進む地方において、都市部の人材を積極的に受け入れ、その定住・定着を図ることで、地域力の向上を目指す取組である「地域おこし協力隊」として、福島市が採用する臨時職員の受入団体となる（応募がなく、企画の見直し中）

■活動に関する事項

＜非営利活動に係る事業＞

1. まちづくりに関する、情報発信・収集・企画・運営・案内人（ガイド）による交流を促進させる事業

①冒険あそび場運営事業【受託事業】

趣旨目的	子どもが自由に責任を持って遊ぶことをモットーとした遊び場「プレイパーク」において、子ども自身が「やってみたい、楽しい」と感じる遊びのなかで心身の発育を促す機会をつくる			
内 容	飯坂町内の公園や河川敷、県内の児童センターやイベント会場等で、木製手作りの遊び道具（プレイキット）を積載した車両（プレイカー）を用いて、遊び道具の提供と子どもの外遊びの安全管理と見守りを行った			
場 所	会 場	参加者数	開催回数	備 考
飯坂町	乙和公園、飯坂学童クラブ、花水坂学童クラブ	204名	19回	
飯坂町茂庭	茂庭広瀬公園内	197名	6回	
福島市内	野田児童センター	34名	1回	
西郷村	熊倉児童センター	485名	6回	
相馬市	川原町児童センター	747名	9回	
新地町	新地小学校、釣師防災緑地公園	94名	4回	
参加合計者数・回数		1,761名	45回	
委託元	福島県子どもの冒険ひろば設置運営業務委託（子どもが自然と遊ぶ楽校ネット）			

②ぶらっとふおーむ飯坂の運営【受託事業】

実施期間	令和 2 年 4 月 ～ 令和 3 年 3 月			利用者数	10 名
場 所	飯坂町	会 場	旧加藤別荘	開催回数	1 回
内 容	福島市飯坂温泉のラヂウム玉子製造源泉にある加藤別荘を改装した交流拠点「ぶらっとふおーむ飯坂」より、利用受付や施設の開錠・施錠、利用料の徴収を受託				
委託元	ぶらっとふおーむ飯坂（旧加藤別荘）利用会員登録料、施設使用料の半額				

2. 着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業

飯坂茂庭活性化プロジェクト

（1）自主事業

趣 旨 目 的	福島市飯坂町及び茂庭地区の自然や施設、文化を活用した事業（活動）を行うことにより、地域の交流人口の増加を図る			
活動名	茂庭っ湖カヤックツアー		参加者数	443 名
実施期間	令和 2 年 4 月 ～ 令和 2 年 11 月		開催回数	75 回
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム 梨平公園	
内 容	摺上川ダム（通称：茂庭っ湖）でのカヤックツアー開催、観光事業者や行政観光担当者を対象とした体験会の開催			
収 益	参加料、委託料、ふくしま未来基金			

活動名	第5回 茂庭っ湖ライントライアルレース			参加者数	0 名
実施日	新型コロナウイルス感染拡大のため次年度へ延期			開催回数	0 回
場 所	飯坂町茂庭	会 場	国道３９９号線(飯坂町茂庭 摺上川ダム周辺)		
内 容	摺上川ダム沿いの国道３９９号線にて往復11kmの自転車タイムレース開催				
収 益	次年度の大会へ繰り越しました				

活動名	江戸時代建築の老舗旅館で上生菓子作り			参加者数	9 名
実施日	令和 2 年 11 月 25 日 ・ 12 月 13 日			開催回数	2 回
場 所	飯坂町	会 場	なかむらや旅館	講 師	紅屋本店・一味庵
内 容	なかむら屋旅館や常泉寺を会場とし、市内の和菓子屋を講師に和菓子作り（ねりきり）体験				
収 益	参加料				

活動名	里山と水路を巡るサイクリング			参加者数	0 名
実施期間	令和2年度の実施は無し			開催回数	0 回
場 所	飯坂町	会 場	西根堰周辺		
内 容	飯坂町内の史跡や果樹園、西根堰をマウンテンバイクで巡るガイドツアー				
収 益					

活動名	万世大路スノーシュー			参加者数	21 名
実施期間	令和 3 年 2 月 7 日（午前・午後） ・ 20 日 ・ 3 月 4 日			開催回数	4 回
場 所	飯坂町中野	会 場	国道13号線 東栗子トンネル付近		
内 容	国道13号線の旧街道のトンネル跡地の内部に冬季期間にできた氷柱をスノーシューを履いて歩いて見に行くツアー				
収 益	参加料				

## （２）助成金事業

活動名	体験アクティビティの拡充	新規雇用	1 名
期 間	令和 2 年 6 月 1 日 ～ （令和 3 年 5 月 31 日）		
場 所	飯坂町内		
内 容	カヤック事業の発展を目指し、常時活動するインストラクター1名の雇用と養成、既存スタッフの研修		
助成元	ふくしま未来基金 未来づくり助成		

(3) 受託事業

活動名	第14回 茂庭っ湖まつり		
実施日	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	参加者数	名
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム事務所、駐車場、梨平公園
内 容	カヤック、スタンドアップパドルボード体験		
委託元			
その他	実行委員会構成団体として参加	主催	茂庭っ湖まつり実行委員会

3. まちづくりに関する、講演会・講習会・調査・研究・提言事業

(1) 講師及び委員等の派遣

活動名	飯坂地域まちづくり計画推進懇談会		
実施期間	令和 2 年 6 月 ~ 令和 3 年 1 月	開催回数	4 回
応対者	佐藤耕平	会 場	飯坂支所 会議室
内 容	福島市総合計画後期基本計画を基調とした飯坂まちづくり懇談会への参加		
活動名	飯坂温泉観光協会 理事会及び各委員会		
実施期間	令和 2 年 5 月 ~ 令和 3 年 3 月	開催回数	17 回
応対者	佐藤耕平	会 場	飯坂温泉観光協会事務所、吉川屋
内 容	理事会、インターネット委員会に参加し事業運営に協力		
活動名	飯坂温泉の活性化にかかる意見交換会		
実施日	令和 2 年 10 月 1 日	開催回数	1 回
応対者	佐藤耕平	会 場	福島市飯坂支所
内 容	福島市による飯坂町活性化についての意見徴収		
活動名	地域活動の実践例		
実施日	令和 2 年 12 月 5 日	開催回数	1 回
応対者	佐藤耕平	会 場	ぷらっとふおーむ飯坂
内 容	地域活動の事例として当法人の活動を報告		

4. 地域の歴史、伝統、文化、芸能、芸術、スポーツ等、及び地域の名物の保存、育成を図り地域活性化のためのイベント、お祭りの企画運営事業

(1) 飯坂茂庭活性化プロジェクト

①受託事業

活動名	花ももの里管理運営業務	参加者数	名
期 間	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		
場 所	飯坂町	会 場	花ももの里
内 容	花ももの里の管理運営、案内、協力金徴収		
委託元	飯坂温泉観光協会		



活動名	協同組合飯坂スタンプ会事務局		
実施日	令和 2 年 10 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日		
場 所	飯坂町		
内 容	飯坂町内の商店で利用できる共通スタンプや商品券の発行事業を行う事務局を受託		
委託元	協同組合飯坂スタンプ会		
活動名	摺上川ダム紹介動画作成	制作点数	1 作品
実施日	令和 2 年 12 月 ～ 令和 3 年 3 月		
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム
内 容	摺上川ダムの機能や役割、見学施設や周辺の観光スポットやイベント情報を紹介する動画作成		
委託元	摺上川ダム管理所		
活動名	第2回 茂庭っ湖フォトコンテスト	出展者数	36 名
実施日	令和 3 年 1 月 10 日 ～ 令和 3 年 2 月 10 日	開催回数	1 回
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム管理所
内 容	摺上川ダムや周辺で楽しく過ごす人々の様子を撮影した写真をSNSで募集		
委託元	摺上川ダム管理所		

## ②実行委員会・協力事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により協力するイベント等が中止となりました

## 5. 地域の特産品の普及拡大を図る為に、地域の生産者と事業連携を図り、地域の特産品を開発・宣伝し地域の活性化を図る事業

### ①助成金事業

活動名	飯坂町の特産品を活用した洋食デリバリー事業		
実施日	令和 2 年 7 月 22 日 ～ 令和 3 年 1 月 30 日		
場 所	on café（オンカフェ）		
内 容	地元農家に相談して桃やりんごを仕入れて新メニューのデザートやピザに活用		
助成元	独立行政法人中小企業基盤整備機構 小規模事業者持続化補助金		

## 6. その他、第3条の目的をみたすために必要な事業

### (1) インターン受入

※令和2年度の実績はありませんでした

＜その他の事業（収益事業）＞

（１）着地型観光プログラム販売事業

「２．着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業」の（１）にあるように、プログラムの試験的な実施を行いました  
（本格的な販売には至りませんでした）

（２）地元住民や観光客の交流を育むコミュニティ空間形成等の事業

活動名	oncafé（オンカフェ）運営事業
実施日	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日
場 所	福島市飯坂町湯沢 2 6 番地 鱒湖湯前
内 容	茂庭っ湖ダムカレー等、地域資源を P R する飲食メニューの提供
収 益	販売収益

◇添付資料

1. 加盟団体一覧（順不同）

・ 飯坂温泉観光協会	<a href="https://iizaka.com/">https://iizaka.com/</a>
・ 飯坂町商工会	<a href="https://www.iizakamachi.com/">https://www.iizakamachi.com/</a>
・ 飯坂町史跡保存会	
・ 湯沢町内会	
・ 湯沢商店会	
・ （一社）福島市観光コンベンション協会	<a href="https://www.f-kankou.jp/">https://www.f-kankou.jp/</a>
・ 子どもが自然と遊ぶ楽校ネット	<a href="https://www.kodomo-gakkounet.com/">https://www.kodomo-gakkounet.com/</a> 未来の担い手である福島県内在住の子どもたちが自ら考え「生き抜く力」を高めることを目的に、県内で自然体験活動を行っている8団体で構成されたネットワーク組織
・ （特非）福島市レクリエーション協会	<a href="http://www.f-rec.net/">http://www.f-rec.net/</a> レクリエーションの総合的な普及振興を図り、福島市民の福祉向上と明るく豊かな生活の形成に寄与することを目的として市内16団体で構成されたネットワーク組織
・ （特非）日本冒険遊び場づくり協会	<a href="http://bouken-asobiba.org/">http://bouken-asobiba.org/</a> 「遊び あふれる まちへ！」の合言葉で、冒険遊び場づくりを通して地域で子どもたちが自由に遊び育つ豊かな社会の実現をめざして全国展開しているネットワーク組織

◇添付資料

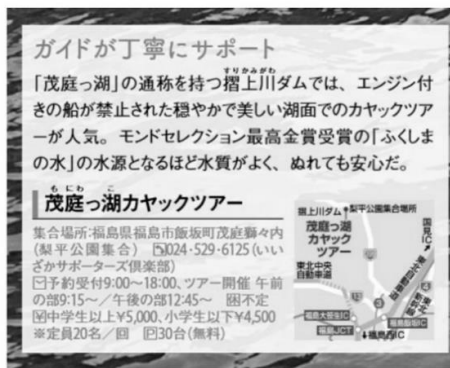
2. 広報掲載紙面等



令和2年7月号 シティ情報ふくしま



令和2年7月号 aruku



令和2年9月号 ハイウェイウォーカー



令和2年9月号 じゃらん関東東北



令和2年11月30日 福島民報社



令和2年11月30日 福島民友新聞社